

伐木での労働災害の見直し

令和2年度の分析結果によると、チェーンソーによる伐倒作業での事故が多いことが分かった。自己伐倒による事故が19件。「自ら伐倒した倒木に激突」が16件。「自己伐倒木がかかり木となり、処理中に激突」が3件。かかり木に関しては、前年度の6件より減少はしているが、伐木作業での事故は変わらず多い。事例を基に、各見直しをせていくことが、大切である。

- 1.伐倒木が裂け激突
 - 2.倒れる方向が変わり激突
 - 3.つる絡みの隣接木が倒れ激突
 - 4.伐倒済の元口に倒れ、跳ねて激突
 - 5.倒れる時期が早くなって激突
 - 6.伐倒木の枝が落下し激突
 - 7.伐倒木の枝が同僚の後頭部に激突
- ※自社でのヒヤリハットで見直そう！

依田林業新聞

発行所

(有) 依田林業
塩山事務所
総務部

心に響く一言
 現実に身を任せよう。
 過去を受け流そう。
 未来に希望を持とう。

バイオマスによるカーボンニュートラル

再生可能エネルギーとして今注目されている、「木質バイオマス発電」環境に優しいエネルギーです。製紙用・建材用・燃料用と分けられています。山林に放置される木材は、腐食すると地球温暖化の原因となる二酸化炭素やメタンガスを発生させます。利用価値のなかった間伐材でも、チップにすれば大切な資源になります。それらを取り除くことで、植林作業等も効率よく行えるため、元気な山が育成できるようになります。



秋の交通安全の注意事項

交通安全期間中は交通安全に対する運転者の意識が高まる時期です。ただし、漠然と「安全運転をするように」とか「防衛運転をするように」と一方的に指示したり、ポスターを掲示するだけでは、安全運転意識が向上しません。交通事故のリスクの大きさを理解したり、自身の運転に弱点に気付くことが大切です。周りも注意し合える環境を整えることも、1つの方法です。

高齢運転者等の安全運転の励行

高齢運転者による事故が多く発生しています

安全運転について家族で話し合ってみましょう。運転免許証を返納する制度があります。運転に不安を感じたら、警察の安全運転相談窓口で相談してみましょう。

シートベルトはどこに座っても必ず着用

どの座席でも必ず「シートベルト」を着用、6歳未満の幼児は「チャイルドシート」を使用してください。「チャイルドシート」は、子供の体格に合ったものを正しく使用しましょう。

- 事業所等の業務形態に対応した交通安全教室等を3密を避けて開催する。
- 横断歩道上の歩行者や自転車の安全と優先を徹底する。また、歩行者・自転車などに対する思いやりのある運転を推進する。
- 妨害運転（いわゆる「あおり運転」）の悪質性・危険性の周知と道路交通法改正による罰則の創設などについての広報・啓発する。
- このほか飲酒運転、無免許運転など危険運転の実態を知らせる。
- 交通法令を遵守し、体調面も考慮した安全運転を励行する。
- 自転車利用者に対する交通ルール遵守の徹底
- 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底。
- 高速乗合バス及び貸切バス等の事業者は、全座席でのシートベルト着用を徹底させるための指導・広報啓発を強化する。

夕暮れ時と夜間の交通事故防止と飲酒運転等の危険運転の防止

秋の夕暮れの運転には注意をすること

夕暮れ時や夜間の時間帯は、反射材を身につけて自分の位置を知らせることで、事故を防ぐことができます。夕暮れ時には自動車や自転車の早めのライト点灯を心がけましょう。

お酒を飲んだら運転しない 妨害運転をしない

わずかなお酒でも、運転能力・判断能力を鈍らせます。飲酒運転を根絶しましょう。また、ゆすり合いの気持ちを持って「あおり運転（妨害運転）」はやめましょう。